リクライニングシャワーチェアー

マイティストレッチャー

操作取扱説明書

株式会社　ミクニ

このたびは、「マイティストレッチャー」をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
「マイティストレッチャー」は施設内、またはご家庭内で姿勢の不安定な方の入浴を助けるリクライニング機構付きのシャワーチェアーです。
本説明書をよくお読みになり、正しく安全にご使用下さるよう、お願い申し上げます。
なお、お読みになったあとは、大切に保管して下さい。

目　　　次

1. 安全上の注意

ご使用の前に、この安全上の注意をよくお読みの上、正しく

お使い下さい

ここに示した注意事項は、商品を正しくお使い頂き、お客様本人や他の人々への危害、危険、損害を未然に防止するためのものです。　また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」・「注意」の２つに区分しています。
　いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守って下さい。

⚠ 警　告	：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
⚠ 注　意	：人が損害を負う可能性および物的損傷のみの発生が予想される内容

※　本文中の 重　要 　注　意 の表示がある部分についても、

破損やケガを未然に防ぐための記述ですので必ずお読み下さい。

⚠警　告

・　屋内向けに作られた商品ですので、屋外での使用はお止め下さい。
・　階段やエスカレーターでは絶対に使用しないで下さい。
・　分解、改造は耐久性に影響をおよぼすため絶対に行わないで下さい。
・　リクライニングワイヤーは、消耗品です。使用頻度に応じて定期的に交換して下さい。
・　フットプレート・レッグレスト・アームレスト・介助グリップは、シート（座面）に座っている時のみ使用して下さい。過度の荷重をかけたり、乗り降りの際に使用すると、転倒や破損の恐れがあり大変危険です。
・　スロープを降りる場合には、必ず後ろ向きに走行して下さい。前向きに走行しますと搭乗者がシートから落下したり、スピードが出過ぎることが考えられ、重大事故につながり大変危険です。
・　暖房器の周辺等温度上昇の著しいところでの使用・保管はお止め下さい。変形や破損、火災の原因となります。
・　介助・搭乗者の身体を車輪や回転部、スライド部等に挟まれないようご注意下さい。
・　チェアーのリクライニングを使用する際には必ず、転倒防止バーを使用して下さい。　バランスが頭側に傾くと転倒する恐れがあり大変危険です。
・　リクライニング時は、不安定になりますので、荷重が不必要にチェアーにかからないように、介助する方は充分注意して下さい。
・　搭乗者を乗せたり、降ろしたりする際には必ず、ブレーキを使用して下さい。　チェアーが思わぬ動きをして転倒や落下事故を招く恐れがあります。
・　チェアーを火気に近づけないで下さい。変形や破損、火災の原因となります。
・　バックレストに、物等を引っ掛けないで下さい。バランスが頭側に傾き転倒する恐れがあります。
・　本チェアーの体重制限は、１００ｋｇです。範囲を超えての使用はお止め下さい。変形や破損、重大な事故になる恐れがあります。
・　メッシュシートは消耗品です。ほつれや切れ等が発生しましたら使用を中止して新しい物と交換して下さい。
・　搭乗者が乗っている状態でスロープの途中に放置しないで下さい。
・　移動の際、安全ベルトは必ず使用して下さい。

⚠ 注　意

- チェアーを投げたり、落としたりしないで下さい。
- 本来の使用目的と違った目的での使用はお止め下さい。
- 搭乗者が乗っていない場合でもスロープの途中に放置しないで下さい。
- 高温、多湿な場所に長時間放置しないで下さい。
- 介助・搭乗者の衣服を車輪や回転部、スライド部に挟まないよう注意して下さい。
- リクライニングを操作する際には、周りに充分注意して行って下さい。

2.　各部の名称と機能

①　介助グリップ
②　アームレスト
③　後輪
④　キャスター
⑤　ヘッドレスト
⑥　バックレスト
⑦　安全ベルト
⑧　シート（座面）
⑨　レッグレスト
⑩　フットプレート
⑪　アームレストノブ
⑫　ハンドル
⑬　介助グリップノブ
⑭　ブレーキ
⑮　リクライニングレバー
⑯　転倒防止バー
⑰　レッグレストノブ

①　介助グリップ
　搭乗者の体の向きを変える時に、または変えた体位を安定させるために補助的に使用するグリップです。必要無い時には、折りたたむ事もできます。（Ｐ１３　参照）

②　アームレスト
　搭乗者が肘や腕を置いたり、手で握ったりして、座っている時の状態を保つための物です。移乗や洗体の時に邪魔になる場合には取り外す事もできます。（Ｐ１８　参照）

③　後輪
　後ろ側の車輪です。タイヤ部分はパンクしない構造になっています。

④　キャスター
　前側の車輪です。　固定部分を中心に車輪部分が３６０°回転し向きを変えます。こちらにもブレーキが付いていますので、より強くブレーキを掛けたい時に使用します。（Ｐ１１　参照）

⑤　ヘッドレスト
　搭乗者の頭を支えます。裏側のマジックテープの貼り合わせ位置を調整することによって、外したり、たるませたりする事ができます。
（Ｐ１７　参照）

⑥　バックレスト
　搭乗者の上体を支えます。リクライニング時にはこの部分とヘッドレストがいっしょに倒れます。（５°～８０°まで１１段階で調整）
（Ｐ１４　参照）

⑦　安全ベルト
　搭乗者の身体を固定する時に使用します。　胸部と腰部の２ヶ所に有ります。（Ｐ２０　参照）

⑧　シート（座面）
　搭乗者の臀部を支えます。リクライニング時にバックレストに連動して角度が変わります。（５°～１５°）

⑨　レッグレスト
　搭乗者の脚部を支えます。　調整ノブを引く事で 8 段階に角度が変わります。（Ｐ１５　参照）

⑩　フットプレート
　搭乗者の足を支えます。　移乗時や洗体時、邪魔になる場合には回転させ外側に開いたり、取り外したりする事もできます。（Ｐ１６　参照）

⑪　アームレストノブ
　アームレストを取り外す時にこのノブを引っ張ります。（Ｐ１８　参照）

⑫　ハンドル

移動する時に介助者は、ここを持って動かします。

⑬　介助グリップノブ

介助グリップを折りたたむ時にこのノブを回します。（Ｐ１３　参照）

⑭　ブレーキ

動かない様に車輪を固定します。（Ｐ１１　参照）

⑮　リクライニングレバー

リクライニングさせる時にこのレバーを引き、ちょうど良い角度で放すとロックし、リクライニング角度が固定されます。（Ｐ１４　参照）

⑯　転倒防止バー

移乗時や洗体時にバランスがくずれて後ろ側に倒れるのを防止します。特にリクライニングさせる時には、不安定になりますので必ず使用するようにします。（Ｐ１２ 参照）

⑰　レッグレストノブ

レッグレストの角度を変える時にこのノブを引っ張ります。（Ｐ１５　参照）

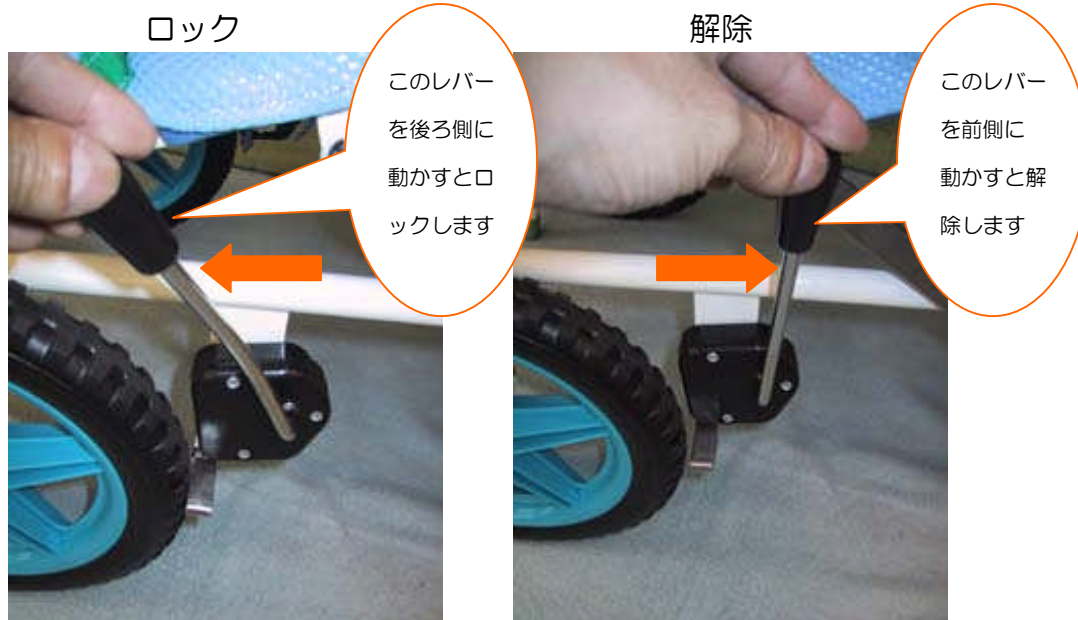
3.　操作、取り扱い

（1）ブレーキの操作

このチェアーには、前輪と後輪それぞれの車輪合計４ヶ所にブレーキが付いています。完全に固定するには４つのブレーキを以下の操作ですべてロックの状態にします。

・キャスター（Ｐ９　④）

※ブレーキをロックすると同時にキャスターの首振りもロックされます。

・ブレーキ（Ｐ１０　⑭）

重　要

使用前にキャスターやブレーキにガタつきが無いか確認して下さい。

（2）転倒防止バーの操作

このチェアーには、移乗時や洗体時にバランスがくずれて倒れるのを防止するため転倒防止バー（Ｐ１０　⑯）が後側左右に付いています。以下の操作方法で出し入れします。

重　要

リクライニングさせる場合には、特に後側に転倒する恐れがあるため、確実にセットして下さい。

①　転倒防止バーの曲がっている所を手で持ち溝からピンが外れるまで後方に引っぱります。（約１ｃｍ）

注　意

必要以上に後方に引っぱらないように注意して下さい。スプリングが伸び過ぎて故障の原因となります。

②　転倒防止バーの脚が下を向くまでひねります。

③　ピンと溝を合わせて手を放します。スプリングの力でバーが戻りピンが溝にはまります。

④　左右にゆすって回らないのを確認してセット完了です。

⑤　これを左右両側行います。

重　要

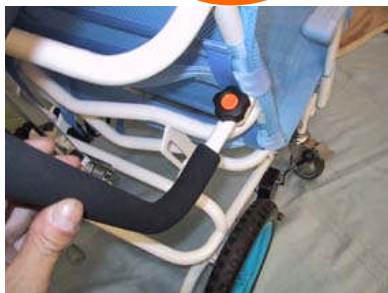
左右両側をセットして下さい。片側だけですと、転倒する恐れがあります。

※　戻す時には、逆の手順で同様に操作します。

（3）介助グリップの操作

搭乗者の方が、手や腕を比較的自由に使える場合には、この介助グリップ（Ｐ９　①）を利用して体を横向きに変えたり、変えた体位を安定させるために握ったりして使用します。
また、移乗や洗体の際に邪魔になる場合には、以下の操作で折りたたむ事もできます。

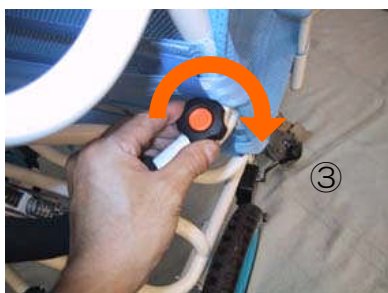
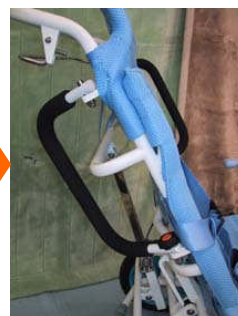
①　介助グリップノブ（Ｐ１０　⑬）を矢印の方向に軽く止まるまで緩めます。

②　介助グリップを矢印の方向に１８０゜回します。

③　介助グリップを左右に小さく振りながら、ノブを矢印の方向に締めていき、グリップの止まる位置でしっかり締めます。

※　介助グリップを出す時には、同様の操作で②と反対方向に１８０゜回します。

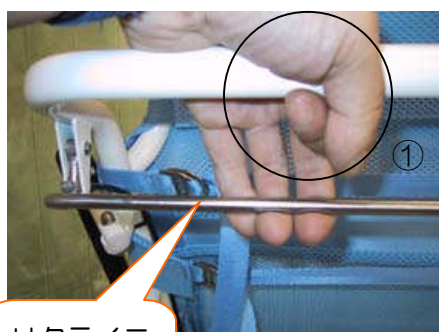
重　要

出した時、たたんだ時　どちらの状態でも介助グリップがしっかりと固定されている事を確認してから使用して下さい。グリップが不意に動き重大な事故につながる恐れがあります。

回転させた状態

出した状態　　たたんだ状態

（4）リクライニングの操作

リクライニングレバー（Ｐ１０　⑮）を握りながら、ハンドルを上方または下方に動かすと、床面に対して５゜～８０゜まで１１段階で、バックレスト及びヘッドレスト（Ｐ９　⑤⑥）の角度を調整する事ができます。

重　要　操作はゆっくりと行って下さい。急激な操作は重大な事故につながる恐れがあります。

① ハンドルを両手の親指と人差指でしっかり握り、残りの指でリクライニングレバーを操作します。

② ハンドルをやや上方に引き上げながら、リクライニングレバーを握ります。

重　要

リクライニングレバーを握ると、搭乗者の体重がハンドルに掛かりますので、充分に注意して操作して下さい。

③ ハンドルを上方または下方に動かし、お好みの角度でリクライニングレバーを放します。

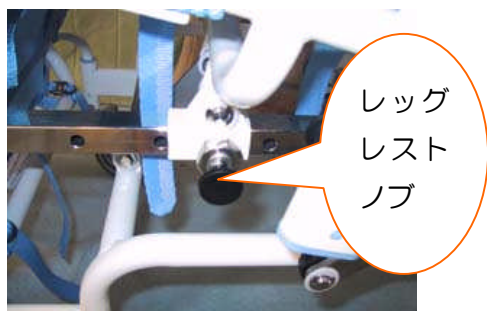
④ ハンドルをゆっくり下方に動かしバックレストの動きが止まりましたらハンドルから手を放します。

バックレストを立てた状態

フラットな状態

（5）レッグレストの操作

レッグレストノブ（Ｐ１０　⑰）を引きながら、レッグレスト（Ｐ９　⑨）自体を上方または下方に動かすと、シート（座面）（Ｐ９　⑧）に対してフラットの状態からたたんだ状態まで８段階で、レッグレストの角度を調整する事ができます。

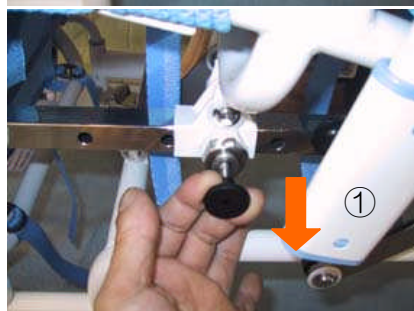
重　要　操作はゆっくりと行って下さい。急激な操作は重大な事故につながる恐れがあります。

※　レッグレストノブはチェアーを正面から見て右側にあります。

①　レッグレストを左手でやや持ち上げながらレッグレストノブを引きます。

重　要

レッグレストノブを引くと、搭乗者の脚の重さがレッグレストに掛かりますので、充分に注意して操作して下さい。

②　レッグレストを上方または下方に動かし、お好みの角度でレッグレストノブを放します。

③　レッグレストをゆっくり下方に動かしレッグレストの動きが止まりましたら手を放します。

シート（座面）とフラットな状態

たたんだ状態

（6）フットプレートの操作

チェアー前方に付いているフットプレート（Ｐ９　⑩）は、以下の操作で、外側に開いたり、取り外したり、跳ね上げたりする事ができます。移乗時や洗体時に邪魔になる場合には、お好みの形にてお使い頂けます。

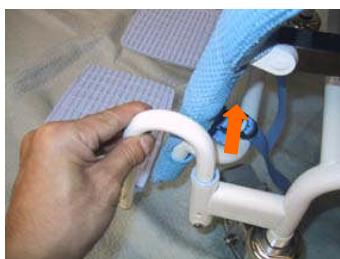
重　要

フットプレートは座っている時のみ使用して下さい。過度の荷重をかけたり、乗り降りの際に使用すると、転倒や破損の恐れがあります。

通常使用時

① 旋回させ、外側に開く時には、写真のように上方向に少し持ち上げ、外側へ回します。

② 取り外す時には、そのまま上方向に引き抜きます。

※ 取り付ける際には、上から差し込み通常使用時の位置に戻します。回り止めの溝がピンにはまり、回転しない事を確認してから使用して下さい。

① 外側に開く時

② 取り外す時

③ 跳ね上げる時

③ フットプレートを跳ね上げる時には、プレートの先端を持ち矢印の方向に持ち上げます。

※ 戻す時には、反対に降ろします。

（7）ヘッドレストの操作

このチェアーのヘッドレスト（Ｐ９　⑤）には、たるみが調節できるように裏側部分にベルクロテープが付いています。以下のやり方で、たるみを大きくしたり、取り外したりする事ができます。

②　すべてはがしたら、シートをお好みに合わせてゆるめ、ベルクロテープをその位置で貼り合わせます。

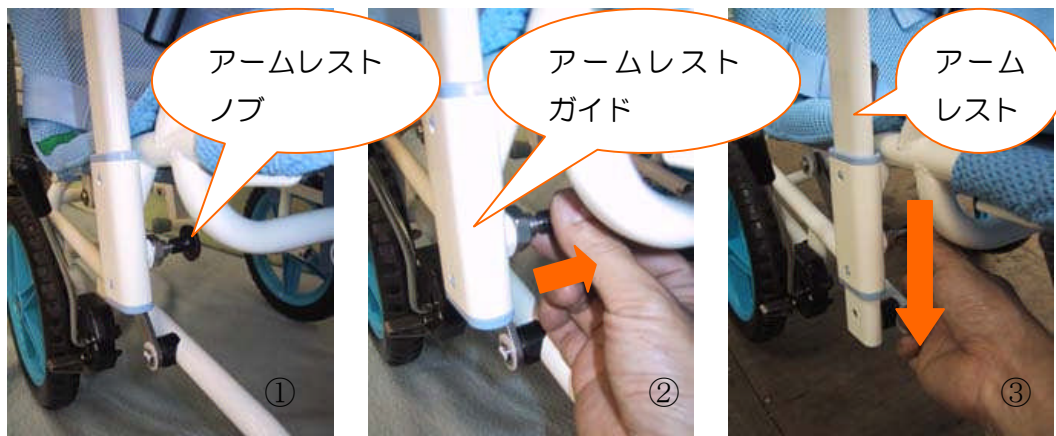
重　要

ベルクロテープは、１０ｃｍ以上重ねて使用して下さい。それ以下だと使用中にテープがはがれ、頭が落ちる恐れがあります。

ベルクロテープの接着力が弱くなると、使用中にテープがはがれ、頭が落ちる恐れがあります。ヘッドレスト部メッシュシートを「Ｐ２２　４．メッシュシートの取り付け、取り外し」にしたがって、新しいものと交換して下さい。

（8）アームレストの操作

アームレストノブ（Ｐ９　⑪）を引きながら、アームレスト（Ｐ９　②）を下方に押すと縮める事ができます。また上方に引くと取り外す事もできます。移乗の際などアームレストが邪魔になる時には、以下の方法で操作して下さい。

・　縮め方

※　アームレストノブは左右のアームレストの下方にあります。

アームレストノブを矢印の方向に引きながらアームレストを下方に少し押し下げ、ノブから手を放します。そのままアームレストを“カチッ”と音がして止まるまで押し下げます。

・　戻し方

アームレストノブを縮める時と同様に引きながらアームレストを上方に少し引き上げ、ノブから手を放します。そのままアームレストを“カチッ”と音がして止まるまで引き上げます。

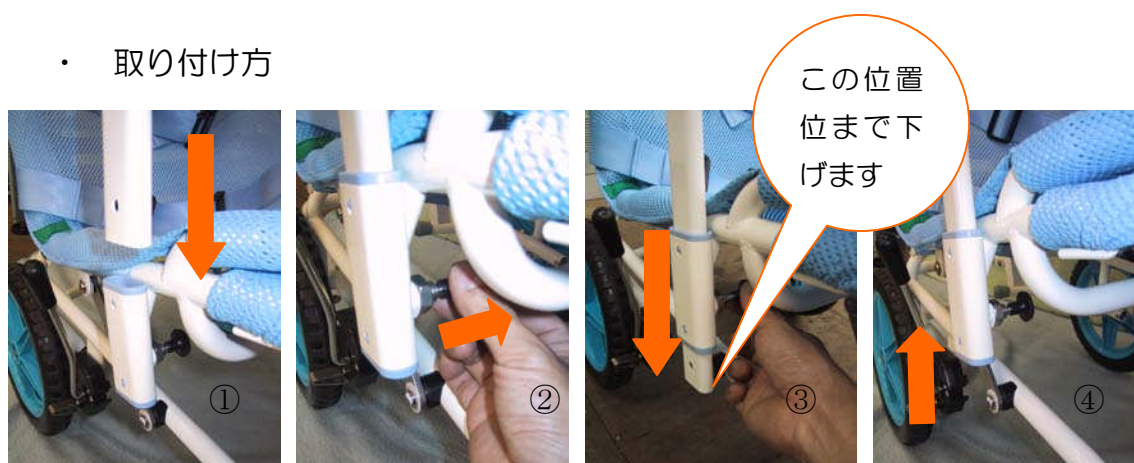
重　要

アームレストを使用時の状態に戻した時には、アームレストが上下に動かない事を確認してから、使用して下さい。

・　取り外し方

※　アームレストノブは左右のアームレストの下方にあります。

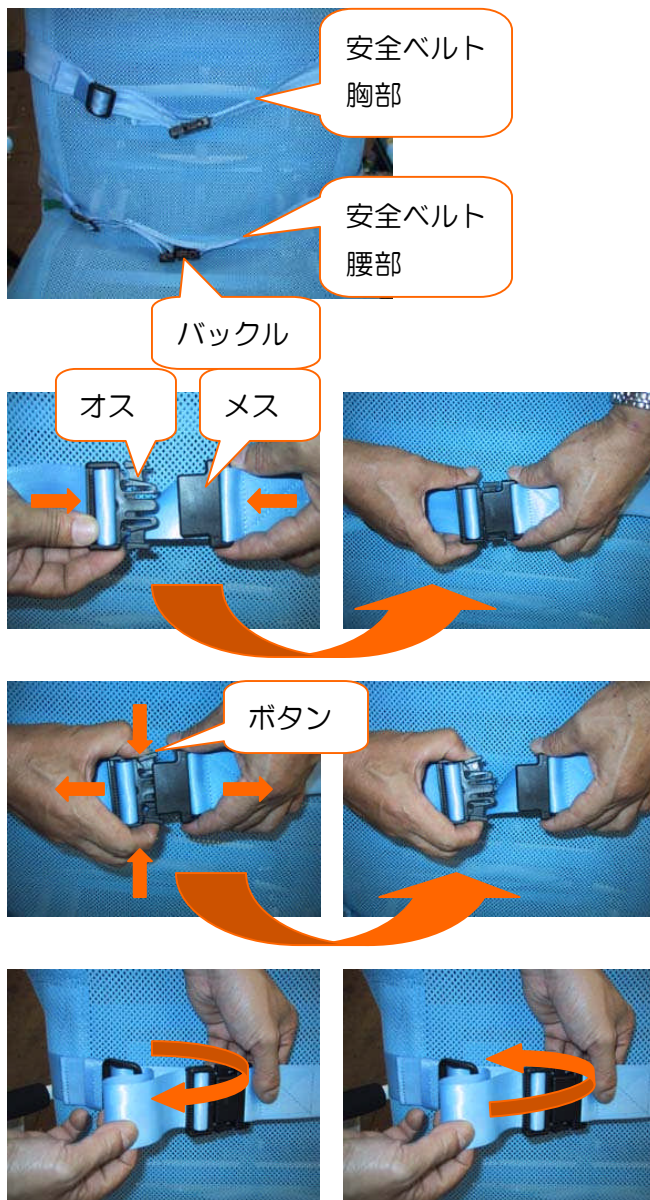
アームレストノブを矢印の方向に引きながらアームレストを上方に抜きます。

・　取り付け方

- アームレストガイドにアームレストを上から差し込み、ノブを引きながら写真③の位置くらいまで下げます。
- ノブから手を放し、肘掛けをゆっくり上へ引き上げます。
“カチッ”と音がしてアームレストが動かなくなれば完了です。

重　要

アームレストを使用時の状態に戻した時には、アームレストが上下に動かない事を確認してから、使用して下さい。

（9）安全ベルトの装着

移動時やその他の場面で搭乗者の身体を固定しなければいけない時に、この安全ベルト（Ｐ９　⑦）を装着します。安全ベルトは、胸部と腰部の２ヶ所に付いており、使用時には両方をしっかりと装着します。

① バックルのつけ方
　バックルのメス側に付いている溝に合わせてオス側をはめ、両側から“カチッ”と音がするまで、押し込みます。
　左右に引っぱり外れなければ、装着完了です。

② バックルの外し方
　オス側の両端に付いているボタンを同時に押しながら左右に引っぱります。

短くしたい時　　長くしたい時

③ ベルトの長さ調整
　短く調整したい時には裏側のベルトを手前側に引っぱり固定します。
　長く調整したい時には手前側のベルトを裏側に引っぱり固定します。

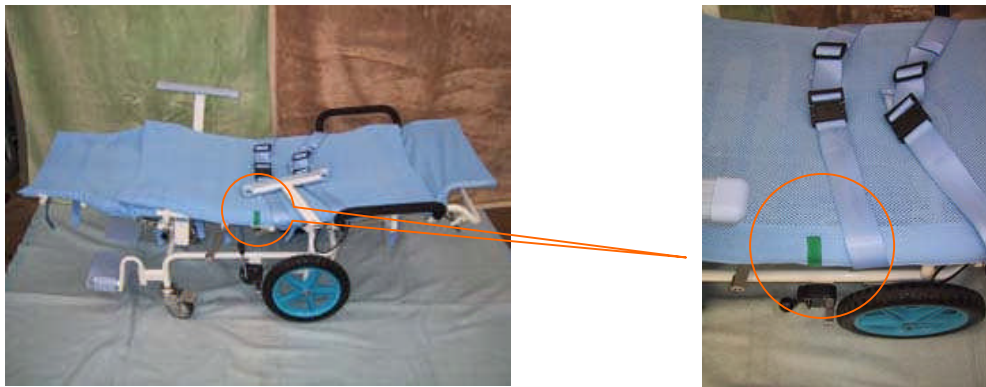
注　意

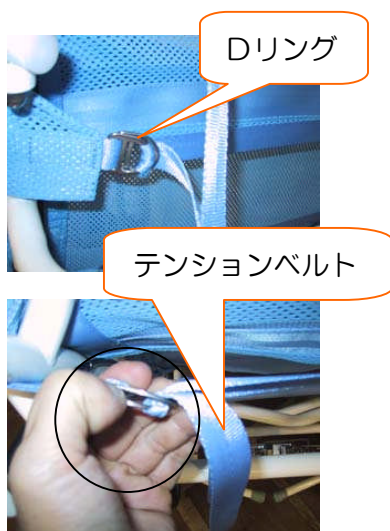
安全ベルトを装着する時には　ねじれ　に注意しながら装着して下さい。

（10）リクライニング時の注意点

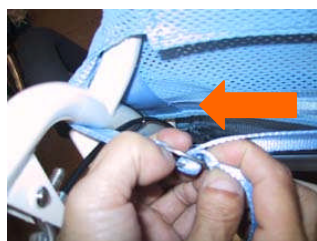
フラットな状態までリクライニングをさせ、搭乗者をチェアーに乗せる時や、洗体時に体位を変換させる場合には、下の写真にある緑色のマークを目安にします。これは、シート（座面）とバックレストのヒンジ部分を示してあます。

重　要

緑色のマークより頭側に尾てい骨があると、バランスをくずして頭側にチェアーが倒れてしまう恐れがあります。

4.　メッシュシートの取り付け、取り外し

このチェアーに使われている、レッグレスト、シート（座面）、ヘッドレストのメッシュシートは、Dリングとテンションベルト、及びベルクロテープで固定されていて、すべて取り外す事が出来ます。汚れて洗濯が必要な時や、古くなって交換が必要な時には、下記の方法で取り外し、および取り付け作業を行って下さい。

(1) テンションベルトの外し方

レッグレストで４ヶ所、シート（座面）で７ヶ所、ヘッドレストで２ヶ所がテンションベルトで固定されています。メッシュシートを外す時には、このすべてを外します。

① ２つ重なったDリングの間に隙間を作る様に指で押さえます。

② ベルトをDリングの内側に向かって押し込み、たるみを作ります。

③ たるみ部分に指を入れベルトの先側を引き抜きます。

④ Dリングからベルトを抜きます

(2) テンションベルトの付け方

メッシュシートを付ける時には、外したベルトを再度、同じ様に取り付けます。

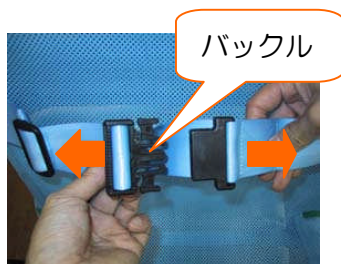
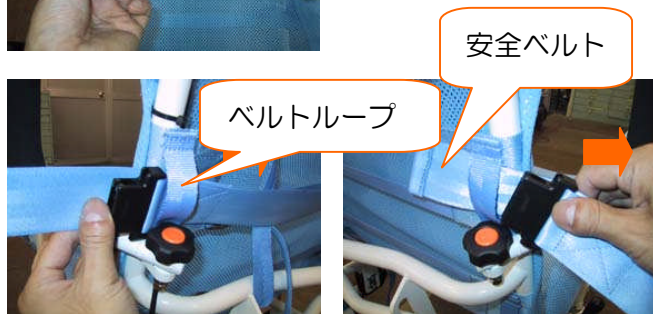
① テンションベルトを先側から、ねじれないように、２つのＤリングに通します。

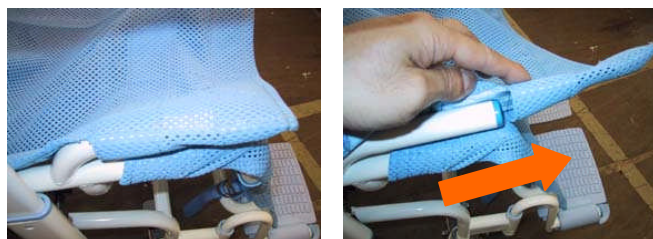
② 写真の様に手前側のＤリングの外側を回して奥側のＤリングにベルトを通します。

③ 通したベルトの先側を少しずつ引きながらメッシュシートのはり具合を確認します。お好みのはり具合になったら、次のベルトを付け、全部を付け終わった後に、再度、はり具合を確認します。

注　意

テンションベルトを引っぱる際に本体のパイプ等に手をぶつけないよう充分注意して行って下さい。

（3）バックレスト部メッシュシートの外し方

① ２ヶ所に付いている安全ベルトのバックルを外します。（Ｐ２０　参照）

② ２ヶ所の安全ベルトをベルトループより抜きます。

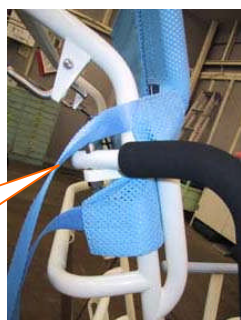
③ ７ヶ所のテンションベルトを「外し方」にしたがって外します。（Ｐ２２　参照）

④ メッシュシート脚側を前方に引き、パイプにかぶっている部分を外します。

⑤ メッシュシート頭側を上方に引き、パイプにかぶっている部分を外します。

⑥ テンションベルトの絡まりに注意しながらメッシュシートを外していきます。

注　意

テンションベルトが本体の部品に引っかからない様に注意して外して下さい。

（4）ヘッドレスト部メッシュシートの外し方

① テンションベルトを「外し方」にしたがって外します。
（Ｐ２２　参照）

② ヘッドレスト裏側のベルクロテープを外します。

③ テンションベルトの絡まりに注意しながら、上方に引けばヘッドレスト部メッシュシートは外れます。

（5）レッグレスト部メッシュシートの外し方

① レッグレスト裏側のベルクロテープを左右剥がします。

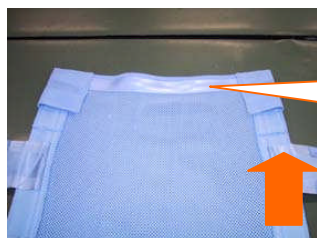
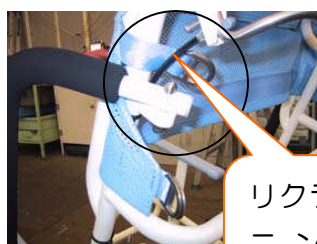
② テンションベルトを「外し方」にしたがって外します。（Ｐ２２　参照）

③ メッシュシート先端を前方に引き、パイプにかぶっている部分を外します。

④ テンションベルトの絡まりに注意しながら、メッシュシートを外していきます。

メッシュシートをすべて外した状態

（6）各部メッシュシートの取り付け方

メッシュシートの取り付けは基本的に、外した時の逆の手順で行います。ここでは、取り付ける際の注意点を記します。

① シートレスト部メッシュシートについて

- 長い側を縦に広げた時に上のベルトが１本の方が頭側、２本の方が脚側ですので、間違えない様に取り付けて下さい。
- テンションベルトの締める位置は、写真を参考に取り付けて下さい。

テンション
ベルト

テンション
ベルト

② ヘッドレスト部メッシュシートについて

- テンションベルトを締め付ける際にリクライニングワイヤーを巻き込まない様にワイヤーの内側にベルトを通します。
- 裏側のベルクロテープは、ヘッドレストの操作の手順（Ｐ１７　参照）で行って下さい。
- テンションベルトを締める位置は、写真を参考に取り付けて下さい。

③　レッグレスト部メッシュシートについて

- 一番シート（座面）側のテンションベルトは写真のようにフックとパイプの間を通して締め付けて下さい。

- 一番脚側のテンションベルトは写真の様にパイプを巻き込んで締め付けて下さい。

- 正面から向かって右側のベルクロテープはインナーパイプをかわして貼り付けて下さい。

5.　日常のお手入れ、点検について

「マイティストレッチャー」は、金属、プラスチック、ゴム、ナイロン生地を材料としています。　錆びや腐食には充分配慮して作られていますが、使用にあたっては下記の項目に注意してお使い下さい。

（1）通常のお手入れについて

・　フレームは、ステンレスの上に塗装がされていますが、シャワー等で水がかかると水アカも付着しますので、時々やわらかい布に、中性洗剤を浸して汚れを取り、乾いた布で拭き取って下さい。

注　意

・　強い酸やアルカリ、塩素系洗剤は使わないで下さい。誤って、これらの洗剤をフレームやメッシュシートにかけてしまったら、水を浸した布ですみやかに拭き取って下さい。
・　金属等の硬い物で、こすったりたたいたりしないで下さい。

（2）メッシュシートのお手入れについて

・　洗濯時は、手洗いをおすすめしますが、洗濯機で洗う場合にはネットを使用して下さい。
　　また乾燥は日陰干しとしてください。

注　意

・　アイロン及び乾燥機は使用しないで下さい。

（3）通常の点検について

・　以下の事を確認してからご使用ください。
　　ブレーキは効きますか？
　　リクライニングは正常にするか、ワイヤーは切れていませんか？
　　転倒防止バーは、正常に操作出来ますか？
　　ねじやボルト、ナットは緩んでいませんか？
・　リクライニングワイヤーは、使用頻度に応じて定期的に交換して下さい。（1 回／1 年）交換の際には弊社または代理店にご連絡下さい。
・　その他、不具合が有る場合には、使用を止め弊社または代理店にご連絡下さい。

6.　仕様

<table>
<tr><td>背角度
座角度調整</td><td colspan="2">背角度 80°～5°間で 7.5°ごとに調整可能（11 段階）
座角度 15°～5°の間で背角度に応じて調整</td></tr>
<tr><td rowspan="2">レッグレスト
角度調整</td><td>背角度 80°時</td><td>85°～-10°で８段階</td></tr>
<tr><td>背角度 5°時</td><td>100°～5°で８段階</td></tr>
<tr><td rowspan="2">寸法
単位 mm</td><td>背角度 80°時</td><td>Ｌ895×W690×H1110</td></tr>
<tr><td>背角度 5°時</td><td>Ｌ1460×W690×H680</td></tr>
<tr><td>重さ　ｋｇ</td><td colspan="2">20kg</td></tr>
<tr><td rowspan="2">座面高さ
単位mm</td><td>背角度 80°時</td><td>前／482　　後／363</td></tr>
<tr><td>背角度 5°時</td><td>前／485　　後／428</td></tr>
<tr><td>材　質</td><td colspan="2">本体／ステンレス、ナイロン、樹脂など　シート／抗菌済ナイロンなど</td></tr>
<tr><td rowspan="2">車　輪</td><td>前　輪</td><td>100mm ブレーキ付　ステンレス</td></tr>
<tr><td>後　輪</td><td>300mm ブレーキ付　発泡車輪</td></tr>
</table>